

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

提出区分	新規	整理番号	6	課題区分	C	令和7年(2025年)4月25日	
横断的な課題	2地域を支える産業のグレードアップ					上田地域振興局	
地域重点政策	2地域を支える産業のグレードアップ						
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属		商工観光課
事業名	上田地域ワイン振興事業				電話	0268-25-7140	
					E-mail	uedachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	NAGANO WINEの振興及び信州ワインバレー構想2.0の推進を図るため、上田地域のワインの認知度を向上させるとともに、地域内外での消費量の増大とワインを基軸とした観光地域づくりを推進する。					
	現状と課題	千曲川ワインバレーにおけるワイナリー・グロワー(生産者)の最大の集積地である上田地域では、その数が年々増加し続けており、多種多様なワインが生産されている(ワイナリー数 12場(R1.12)⇒20場(R6.12))が、その大多数は生産規模がごく小規模な生産者である。一部にファンを獲得しつつある生産者がある一方で、産地全体としての認知度はワインラヴァーへは高まる一方、一般の方へは限定的である。このことから、ワイン産地としての確立には、地域内外の方に対するワイン情報の更なる発信が必要である。					
	内容 (変更後の内容)	①ワイン・ツーリズムサポート人材の育成 NAGANO WINEや千曲川ワインバレーの魅力を地域内外の方に伝えることができる人材を育成するための養成講座を実施する。 (専門家による講座×8回、実地講座×1回) ②ワイン・ツーリズムの拠点形成のための支援 上田地域のワイナリーの玄関口となるしなの鉄道の大屋・田中の両駅周辺の遊休不動産を活用し、ワイン・ツーリズムの拠点(発信、販売、宿泊等)を形成するため、関係機関の協力のもと、当該物件と起業希望者とのマッチングを行う。 (相談会×2回、現地訪問ツアー×1回、空き家等活用セミナー・ワークショップ×2回(相談会と同時開催を検討))					
	事業期間	令和7年(2025年) 4月 ~ 令和8年(2026年) 3月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	ワイン・ツーリズムサポート人材の育成	サポート人材を育成する講座の実施	376,000	報償費:講師謝金(R7統一単価大学教授級)6,600円×16h=106千円 旅費(財務):講師旅費(松本市(里山辺)~上田市(上田)想定)9133円×8回=74千円 需用費:消耗品・試飲用ワイン購入費(一式)50千円 役務費:郵送料・保険料一式 6千円 使用料:バス借上げ代・印刷代一式 140千円			
	遊休不動産を活用したワイン観光拠点の創出	相談会、現地訪問ツアー、セミナー・ワークショップ	530,000	報償費:講師謝金(R7統一単価大学教授級)6,600円×18h=119千円 旅費(財務):講師1名旅費(上田市(殿城)~銀座NAGANO)・2名分旅費東御市(田中)) 25千円 旅費(総務):職員旅費(相談会、物件所有者等)、遊休不動産訪問ツアー参加者現地旅費、専門家2名旅費(上田市(上田)~銀座NAGANO) 100千円 需用費:消耗品、印刷用紙代 20千円 役務費:郵送料一式 5千円 委託料:先進事例ワークショップ開催経費一式 220千円 使用料:会場使用料、印刷代一式 41千円			
	合 計		906,000				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	遊休不動産を活用したワイン観光拠点の事業着手(リノベ等の開始)		1件		☐ 達成		
	小売店・宿泊施設、飲食店、その他観光関係施設からのセミナーへの参加者		10名		☐ 一部達成		
					☐ 未達成		

事業実績・成果	
今後の方向性	